

# CASBEE神戸ver.3

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

## 評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	灘消防署庁舎	階数	地上4F
建設地	神戸市灘区神ノ木通3丁目6番11、6番12	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	80人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2029年5月 予定	評価の実施日	2025年2月26日
敷地面積	2,210 m <sup>2</sup>	作成者	神戸市建築住宅局 山根 正利
建築面積	885 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	3,125 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.7

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 CASBEE神戸の重要項目		
<b>バリアフリー計画</b> Q-2/1.1.3 バリアフリー計画  3.0	<b>建築物の耐震性等</b> Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振  3.4 Q-2/2.4 信頼性  3.2	<b>まちなみ・景観への配慮</b> Q-3/2. まちなみ・景観への配慮  3.0
<b>配慮の概要</b> 社会の変化により、市民の利用ニーズもより変化することが予想されるため、バリアフリー法の移動等円滑化基準を満たした、誰もが使いやすい庁舎としています。		
<b>配慮の概要</b> 免震構造を採用し、安全安心で信頼性の高い庁舎としています。		
<b>配慮の概要</b> 既設庁舎のデザイン要素を新たな形で新庁舎に取り入れ、かつ、周辺建物で多く採用されている、白黒の色彩(外観デザイン)とすることで、周辺環境に馴染み調和する庁舎としています。		
<b>その他の配慮事項</b> 特になし		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.8</b>	
<b>Q1 室内環境</b>					<b>0.40</b>		-	<b>2.9</b>	
<b>1 音環境</b>				<b>2.2</b>	0.15	-	-	<b>2.2</b>	
1.1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	0.40	-	-		
1.2 遮音				<b>1.0</b>	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能				1.0	0.60	-	-		
2 界壁遮音性能				1.0	0.40	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-	-	-		
1.3 吸音				<b>3.0</b>	0.20	-	-		
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.7</b>	0.35	-	-	<b>2.7</b>	
2.1 室温制御				<b>2.5</b>	0.50	-	-		
1 室温				3.0	0.38	-	-		
2 外皮性能				1.0	0.25	-	-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御				<b>3.0</b>	0.20	-	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-		
<b>3 光・視環境</b>				<b>2.7</b>	0.25	-	-	<b>2.7</b>	
3.1 昼光利用				<b>3.0</b>	0.30	-	-		
1 昼光率				3.0	0.60	-	-		
2 方位別開口				-	-	-	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40	-	-		
3.2 グレア対策				<b>2.0</b>	0.30	-	-		
1 昼光制御				2.0	1.00	-	-		
3.3 照度				<b>3.0</b>	0.15	-	-		
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.25	-	-		
<b>4 空気質環境</b>				<b>3.9</b>	0.25	-	-	<b>3.9</b>	
4.1 発生源対策				<b>4.0</b>	0.50	-	-		
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆建材の採用		4.0	1.00	-	-		
4.2 換気				<b>3.6</b>	0.30	-	-		
1 換気量				3.0	0.33	-	-		
2 自然換気性能		自然換気有効開口面積率:1/15以上		5.0	0.33	-	-		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	-	-		
4.3 運用管理				<b>4.0</b>	0.20	-	-		
1 CO <sub>2</sub> の監視				3.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御		建物全体が禁煙		5.0	0.50	-	-		
<b>Q2 サービス性能</b>				-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.4</b>	
<b>1 機能性</b>				<b>3.7</b>	0.40	-	-	<b>3.7</b>	
1.1 機能性・使いやすさ				<b>3.3</b>	0.40	-	-		
1 広さ・収納性				3.0	0.33	-	-		
2 高度情報通信設備対応		40VA/m <sup>2</sup> 以上		4.0	0.33	-	-		
3 バリアフリー計画				3.0	0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性				<b>4.0</b>	0.30	-	-		
1 広さ感・景観		天井高さ:2.7m以上		4.0	0.33	-	-		
2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペース:1%以上		4.0	0.33	-	-		
3 内装計画		建物コンセプト機能が明確化、内装計画と照明計画が一体化		4.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理				<b>4.0</b>	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		①②防汚性の高い建材③水を使用して洗浄可能 ⑤1次扉と2時扉の離隔⑥異なる床材を隣接しない ⑨害鳥対策⑩防錆対策		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		【建築物衛生法における特定建築物】 ①清掃員控室設置②清掃用具室設置③清掃用具庫の設置 ⑤廃棄物スペース確保⑥フロアごとに清掃用流し設置⑧メンテナンスコーナー設置 ⑨清掃時の照度設定が可能⑩ハブ等の操作が容易		4.0	0.50	-	-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.1</b>	0.30	-	-	<b>3.1</b>	
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.4</b>	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		免震装置設置、内部設備保護		5.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>2.8</b>	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				<b>3.2</b>	0.20	-	-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		節水機器、一時貯留、雨水利用		4.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		耐震クラスA		4.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備				2.0	0.20	-	-		

<b>3 対応性・更新性</b>				<b>3.4</b>	0.30	-	-	<b>3.4</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>				<b>4.6</b>	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高:4m		5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.22		4.0	0.40	-	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>				<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>				<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.2</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>				<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>				<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>				<b>2.5</b>	0.30	-	-	<b>2.5</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>				<b>2.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-	<b>3.7</b>
<b>LR1 エネルギー</b>				-	<b>0.40</b>	-	-	<b>4.4</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			BPI:0.57	<b>5.0</b>	0.20	-	-	<b>5.0</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>				<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>			[BEI][BEIm] = 0.52	<b>5.0</b>	0.50	-	-	<b>5.0</b>
<b>4 効率的運用</b>				<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>
集合住宅以外の評価				<b>3.0</b>	1.00	-	-	
4.1	モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	
4.1	モニタリング			-	-	-	-	
4.2	運用管理体制			-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 水資源保護</b>				<b>3.4</b>	0.20	-	-	<b>3.4</b>
<b>1.1 節水</b>			擬音装置設置、瀬水型機器の採用	<b>4.0</b>	0.40	-	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>				<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>				<b>3.2</b>	0.60	-	-	<b>3.2</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>				2.0	0.10	-	-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>				3.0	0.20	-	-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>			-	3.0	0.20	-	-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>			再生クラッシュラン	3.0	0.20	-	-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>				2.0	0.10	-	-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>			フリーアクセスフロア、LGS下地、石膏ボード	5.0	0.20	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>				<b>3.7</b>	0.20	-	-	<b>3.7</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>				<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>				<b>4.0</b>	0.70	-	-	
1	消火剤			-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ノンフロン		5.0	0.50	-	-	
3	冷媒			3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.4</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			LCCO2:65%	<b>4.3</b>	0.33	-	-	<b>4.3</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>				<b>2.9</b>	0.33	-	-	<b>2.9</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>				<b>3.0</b>	0.25	-	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>				<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>				<b>2.7</b>	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車、駐輪スペース確保、管理用車両施設確保、導入路の配慮		4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>				<b>3.1</b>	0.33	-	-	<b>3.1</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>				<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	騒音			3.0	0.33	-	-	
2	振動			3.0	0.33	-	-	
3	悪臭			3.0	0.33	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制</b>				<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1	風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制			1.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>				<b>3.7</b>	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの一部を満たす、広告照明なし		4.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	